

2026年3月6日  
明治大学農学部

**2028年度以降の明治大学農学部自己推薦特別入学試験における  
選考方法の変更について（お知らせ）**

明治大学農学部自己推薦特別入学試験において、2028年度入学試験（2027年度実施）から、下記のとおり変更します。

記

**1 変更点**

選考方法を別紙のとおり変更する。

**2 添付資料**

明治大学農学部自己推薦特別入学試験 選考方法新旧対照表

以上

明治大学農学部自己推薦特別入学試験 選考方法新旧対照表

2028年度入学試験（2027年度実施）	2027年度入学試験（2026年度実施）
----------------------	----------------------

- (1) 第一次選考
  - ・書類選考
- (2) 第二次選考（第一次選考合格者のみ）

<b>農学科</b>	<b>農芸化学科</b>
小論文(※1) <60分> プレゼンテーション・口頭試問・面接(※2) <15分程度>	筆記試験(※3) <60分> 口頭試問(※3)・面接 <15分程度>
<b>生命科学科</b>	<b>食料環境政策学科</b>
小論文(※4) <60分> 面接 <10～15分程度>	小論文(※5) <60分> 面接 <10～15分程度>

- ※1 農学科の教育研究分野に関する小論文を実施します。具体的なテーマや課題は事前に提示しません。
- ※2 最初にプレゼンテーション(7分程度)をしていただき、志望動機や「出願者に求める資質」に対して自身がどのように合致しているのかを説明していただきます。次に、農学科の教育研究分野に関する知識や経験・実績を問う口頭試問と、面接を実施します。
- ※3 「化学」に関する知識を問う筆記試験・口頭試問を実施します。具体的なテーマや課題は事前に提示しません。
- ※4 事前に提示するテーマや課題に関する小論文を実施します。テーマや課題は、第一次選考の合格発表時に、合格者へ通知します。
- ※5 食料環境政策学科の教育研究分野に関する小論文を実施します。具体的なテーマや課題は事前に提示しません。

【評価方法・比重について(参考)】

第一次選考では提出された各出願書類を総合的に判断して可否を決定します。  
第二次選考では各出願書類に加え、第二次選考の結果を総合的に判断して可否を決定します。小論文・筆記試験・口頭試問・プレゼンテーションでは、各学科の専攻に関連した内容を踏まえ、単に知識だけでなく、思考力・判断力・表現力を問います。面接では、人柄や志望動機、学習意欲等を中心に問います。なお、各評価方法で測る「学力の3要素」の比重は以下のとおりです。

評価方法	学力の3要素		
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ、学習する態度
出願書類 (調査書等)	○	◎	◎
小論文・筆記試験	○	◎	
口頭試問・ プレゼンテーション	○	○	
面接		◎	○

- (1) 第一次選考
  - ・書類選考
- (2) 第二次選考（第一次選考合格者のみ）
  - ・特別講義受講 <60分程度>
  - ・特別講義に関する筆記試験 <60分>
  - ・面接 <10～15分程度>

【評価方法・比重について(参考)】

第一次選考では提出された各出願書類を総合的に判断して可否を決定します。  
第二次選考では各出願書類に加え、筆記試験・面接の結果を総合的に判断して可否を決定します。特別講義では、各学科の専攻に関連した講義を行います。筆記試験では、特別講義の内容を踏まえ、単に知識だけでなく、思考力・判断力・表現力を問います。面接では、人柄や志望動機、学習意欲等を中心に問います。なお、各評価方法で測る「学力の3要素」の比重は以下のとおりです。

評価方法	学力の3要素		
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ、学習する態度
出願書類 (調査書等)	○	◎	◎
筆記試験	○	◎	
面接		◎	○